

# 全苗連だより

Vol. 134 (12月増刊号)

令和6年12月27日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

## 令和7年度林野庁予算の概算決定の概要

森林整備事業(林野公共予算)は、1,256億円(経常分)(対前年度比100.2%) + 6年度補正追加額506億円で1,762億円で決定  
非公共事業は1095億円(107.3%) + 6年度補正追加額236億円で決定となり、  
必要な施策や事業を効率的に実施していく方針

政府は12月27日の臨時閣議で、令和7年度予算について概算決定しました。

今年は、12月17日に令和6年度補正予算が成立しており、令和7年度当初予算に合わせて、森林整備政策を強力に推進することとなります。それでは令和7年度林野庁予算概算決定の概要をお知らせします。

**種苗関連予算**については、昨年度に引き続き公共事業、非公共事業とも「花粉症解決に向けた緊急総合対策」を基軸に必要な施策や事業を効率的に実施していくことになっていますが、具体的には令和6年度予算内容を基本的に踏襲したものとなっています。

まず、森林整備事業予算(公共事業)については、7年度当初予算が一般会計で1,256億円(対前年度比100.2%)となっています。6年度補正追加額の506億円を合すると1,762億円となっています。森林整備事業は花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等を推進するとともに、森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向けて、**間伐、主伐後の再生林等を着実に推進**することになります。

予算の重点事項のテーマの1つに『森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策』【参考資料1】があり、主要な種苗生産に係る支援措置は以下のとおりです。

なお、優良種苗生産推進対策のうち苗木生産技術の向上についてはR6と同額となっています。

また、コンテナ苗生産基盤施設整備については、前年と同内容であり、同額規模です。

(参考) 概算決定の関係資料は、次のとおりです。

○森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策【参考資料1】

- ・林業・木材産業循環成長対策【参考資料2】
- ・循環型資源基盤整備強化対策(組替新規)【参考資料3】

コンテナ苗生産基盤施設等の整備

- ・優良種苗生産推進対策【参考資料4】

⑤苗木生産技術の向上等

【参考資料 1】

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策

【令和 7 年度予算概算決定額 14,351,245 (14,397,655) 千円】  
 (令和 6 年度補正予算額 (林業・木材産業国際競争力強化総合対策) 45,852,821千円)  
 (令和 6 年度補正予算額 (花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策) 5,634,710千円)

<対策のポイント>

カーボンニュートラルの実現に向け、森林の循環利用を促進する観点から、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進します。

<政策目標>

国産材の供給・利用量の増加 (34百万m<sup>3</sup> [令和 5 年] → 42百万m<sup>3</sup> [令和12年まで])

<事業の全体像>

|  |   |
|--|---|
| <p><b>1. 森林の集約化モデル地域実証事業</b></p> <p>・循環利用に取り組む林業経営体へ森林の集積・集約化を進めるための、地域の森林の将来像の作成・共有、境界確定、関係者間でのデジタル森林情報の共有等を支援</p>                | <p><b>5. 木材需要の創出・輸出力強化対策</b></p> <p>・地域の取組に対する木材利用の専門家派遣、CLT等の輸出入促進、合法伐採木材の利用促進、木質バイオマスを活用した「地域内エコシステム」の展開、特用林産物の需要拡大等を支援</p> |
| <p><b>2. 林業・木材産業循環成長対策</b></p> <p>・路網の整備・機能強化、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、高性能林業機械の導入とともに、木材加工流通施設の整備や木造公共建築物の整備、森林由来 J-クレジット等森林価値の活用等を支援</p> | <p><b>6. 森林・林業担い手育成総合対策</b></p> <p>・「緑の雇用」事業による新規就業者への体系的な研修、林業大学校で学ぶ就業前の青年への給付金給付、林業経営体の労働安全対策等を支援</p>                       |
| <p><b>3. 林業デジタル・イノベーション総合対策</b></p> <p>・林業機械の自動化・遠隔操作化技術や森林内の通信技術・木質系新素材の開発・実証、先進技術を活用する技術者の育成、デジタル林業戦略拠点の構築等を支援</p>               | <p><b>7. 林業・木材産業金融対策</b></p> <p>・意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援</p>   |
| <p><b>4. 建築用木材供給・利用強化対策</b></p> <p>・木造中層建築物に係る設計や木質耐火部材・JAS構造材の技術開発、製材やCLT等を用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発や設計・建築実証、木造建築物の設計者・施工者の育成等を支援</p>  | <p><b>8. 森林・山村地域活性化振興対策</b></p> <p>・里山林の整備・活用に取り組む組織の確保・育成、「半林半X」を含む活動の実践による山村地域活性化を支援</p>                                    |

【参考資料 2】

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち  
**林業・木材産業循環成長対策**

【令和 7 年度予算概算決定額 6,186,326 (6,510,953) 千円】  
 (令和 6 年度補正予算額(林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部) 11,647,300千円)  
 (令和 6 年度補正予算額(花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策) 5,634,710千円の内数)

<対策のポイント>

林業・木材産業によるグリーン成長に向け、林業の生産基盤の強化や再造林の低コスト化を図るとともに、木材需要の拡大及び木材需要に的確に対応できる安定的かつ持続可能な供給体制の構築を支援します。

<事業目標>

国産材の供給・利用量の増加 (34百万m<sup>3</sup> [令和5年] → 42百万m<sup>3</sup> [令和12年まで])

<事業の内容>

**1. 循環型資源基盤整備強化対策等**  
 循環型林業の推進に向け、搬出間伐の実施や路網整備、再造林の低コスト化等の取組を一体的に支援するとともに、高性能林業機械の導入、エリートツリー等の原種増産技術の開発や苗木の生産技術向上等の取組を支援します。

**2. 木材需要拡大・木材産業基盤強化対策**  
 木材需要の拡大及び木材産業の基盤強化に資する、公共建築物等の木造・木質化、木材加工流通施設の整備等を支援します。

(関連事業)

燃油・資材の森林由来資源への転換等対策

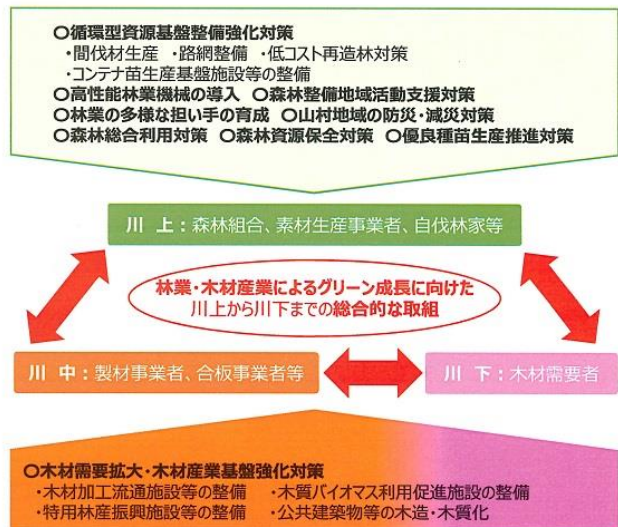
【令和 6 年度補正予算額】1,700,048千円

<事業の流れ>



※ 国有林においては、直轄で実施

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】 林野庁計画課 (03-6744-2082)



【参考資料 3】

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち林業・木材産業循環成長対策のうち

循環型資源基盤整備強化対策（組替新規）

【令和7年度予算概算決定額 6,186,326（6,510,953）千円の内数】

・森林経営管理制度を適切に運用するとともに、林業成長産業化を図っていくため、意欲と能力のある林業経営者を育成し、森林資源を循環利用していくことが必要。  
 ・原木の安定供給に資するため、人工林資源が充実したエリア（生産基盤強化区域）や林業適地（効率的施業区域）における、路網整備や意欲と能力のある林業経営者等が行う間伐材生産、伐採後の再造林や再造林に向けた苗木生産について支援。

| ＜事業の内容＞  | ＜事業イメージ＞   |
|--|--|
| <p><b>循環型資源基盤整備強化対策</b><br/>                     人工林資源が充実したエリア（生産基盤強化区域）や林業適地（効率的施業区域）において行う、以下の取組を支援します。</p> <p>＜支援内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 路網整備・機能強化<br/>                         路網の開設のほか、近年の自然災害の激甚化、木材生産量の増加等に対応するための既設路網の機能強化や復旧を支援</li> <li>○ 間伐材生産<br/>                         意欲と能力のある林業経営者等が行う間伐材生産について支援</li> <li>○ 低コスト再造林対策<br/>                         低密度植栽等の省力・低コスト造林や、必要な資機材の整備、川中等の連携構築に対して支援</li> <li>○ コンテナ苗生産基盤施設等の整備<br/>                         再造林の省力・低コスト化に必要なコンテナ苗の生産基盤の強化等を支援</li> <li>○ 関連条件整備活動<br/>                         上記取組に必要な森林所有者の同意取り付けや森林作業道整備、鳥獣害防止施設等の整備を支援</li> </ul> <p>＜事業主体＞<br/>                     都道府県、市町村、選定経営体（※）等<br/>                     （※「意欲と能力のある林業経営体」及び育成を図る林業経営体）</p> <p>＜事業の流れ＞<br/>                     定額（1/2、2/3以内等）等 定額（1/2、2/3以内等）等</p> <p>国 → 都道府県 → 林業経営体等</p> | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>＜路網整備＞</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>＜間伐材生産＞</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>連携した取組を支援</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>＜低コスト造林＞</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>＜苗木生産＞</p> </div> </div> |

【参考資料 4】

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち林業・木材産業循環成長対策のうち

優良種苗生産推進対策

【令和7年度予算概算決定額 6,186,326（6,510,953）千円の内数】

再造林の低コスト化に資するエリートツリー等の優良種苗の供給拡大を加速するため、種穂の採取源の充実を図るとともにエリートツリー等の原種増産技術の開発や苗木の生産技術の向上等を支援する。

**苗木生産までの流れ**

原種苗木の生産・配布等

採種園等の整備、種穂の採取

山行苗木の生産

造林

②の事業      ①、③、④の事業      ⑤の事業

**事業内容**

①指定採取源の拡大

採取源に指定するための遺伝子調査

②エリートツリー等の原種増産技術の開発等

各育種場の気候条件等に  
 応じた原種増産技術や閉鎖型採種園の管理技術の開発等

③採種園等の有効活用（国有林）

旧採種園等の園内整備や母樹の更新及び人工造林地を穂木の採取源として活用するための条件整備

④花粉の少ない苗木の円滑な生産支援

花粉の少ない苗木の円滑な生産のための種穂の増産を支援

⑤苗木生産技術の向上等

コンテナ苗の生産技術の向上に向けた研修の実施

＜事業の流れ＞

国 → 都道府県 (①、③の事業)      民間団体等 (②、⑤の事業)      ※ ③国有林においては、直轄で実施

【お問い合わせ先】

整備課 (03-3502-8065)  
 研究指導課 (03-6744-2312)  
 業務課 (03-6744-2325)

## 全苗連・苗組の行事予定

- 1月6日 令和7年賀詞交換会(航空会館)
- 1月17日 関東地区林業用種苗需給連絡協議会 web(埼玉県)
- 2月6日 am 令和6年度新たなコンテナ苗生産技術等調査委託事業第2回検討委員会(日本森林技術協会)
- 2月6日 pm 中央需給情報連絡協議会(日本木材総合情報センター)
- 2月21日 林木育種成果発表会 web(森林総合研究所林木育種センター)
- 3月13日 第9回全苗連生産者の集い実行委員会(熊本市)

### 【令和7年度】

- 4月上旬 令和6年度優良種苗生産推進対策のうち苗木生産技術の向上等事業林野庁報告
- 4月上旬 全国山林苗畑品評会三次審査
- 4月中旬 全苗連正副会長会議
- 4月下旬 全苗連監査会
- 5月9日 全苗連理事会
- 5月23日 全苗連通常総会
- 10月9～10日 第9回全苗連生産者の集い(熊本県)